

問1 奈良時代の平城京において、東西に設けられた官宮の市場を監督し、価格の監視や度量衡の不正取締りなどを行った官司を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 郡衙 2. 国衙 3. 市司 4. 京職

問2 古墳時代後期にあたる6世紀になると、有力な農民層や各地の豪族の墓制において、それまでの竪穴式石室に代わり、ある埋葬施設が広く普及した。石室の側面に外部と連結する通路を設けることで、同一の石室に複数の被葬者を追葬することを可能にした、この埋葬施設の名称を答えよ。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 横穴式石室 2. 竪穴式石室 3. 竪穴式石槨 4. 横口式石室

問3 平安時代の貴族の住宅様式は、壁が少なく開放的な構造を特徴としていた。これに対し、室町時代以降に発達し、ふすまや障子による間仕切りや、違い棚・付書院などを備えた武家住宅の様式を何というか。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 武家造 2. 書院造 3. 合掌造 4. 寝殿造

問4 10世紀前半、関東における平将門の反乱と、瀬戸内海における藤原純友の反乱という、地方政治の混乱と武士の台頭を象徴する一連の動乱を総称して何と呼ぶか。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 承平・天慶の乱 2. 治承・寿永の乱 3. 保元・平治の乱 4. 菅原道真の左遷

問5 律令体制下において、大宰府をはじめとする九州沿岸の防備に充てるため、主に東国から徴発されて現地に派遣された兵士を何と呼ぶか。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 防人 2. 軍団 3. 衛士 4. 健児

問6 10世紀前半に藤原純友が海賊を組織して反乱を起こし、国府や大宰府を襲撃する際の拠点とした、本州・四国・九州に囲まれた主要な海上交通路はどこか。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 対馬海峡 2. 瀬戸内海 3. 津軽海峡 4. 関門海峡

問7 3世紀中頃から後半にかけて大和 (現在の奈良県桜井市) に築造された、出現期を代表する巨大な前方後円墳である。墳丘の長さは約280mに達し、後円部に対して撥 (ばち) 状に広がる前方部が西南西の方向を向いている、邪馬台国の女王・卑弥呼の墓とも目される古墳は何か。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 石舞台古墳 2. 箸墓古墳 3. 大仙古墳 4. 造山古墳

問8 7世紀から9世紀にかけて派遣された遣唐使の航路は、当初は朝鮮半島の西海岸沿いを進む安全なルートがとられていたが、8世紀に入るとある国家との関係悪化に伴い、東シナ海を横断する危険なルートへの変更を余儀なくされた。この航路変更の要因となった、当時日本との緊張関係が高まっていた朝鮮半島の国家は何か。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. 高麗 2. 新羅 3. 百濟 4. 任那

問9 9世紀初めに起こった薬子の変 (平城太上天皇の変) に際して、嵯峨天皇は機密保持と迅速な命令伝達を行うために、藤原冬嗣らを天皇の秘書官長である蔵人頭に任命した。この蔵人頭が組織し、天皇の命令を太政官へ伝達する役割を担った、令外の官の役所を何というか。 (2026年 全国公立入試 類似)

1. 太政官 2. 神祇官 3. 弾正台 4. 蔵人所

問10 弥生時代に大陸や朝鮮半島から伝来し、木製農具の刃先や工具、武器などの実用的な道具として用いられた金属器を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 銅剣 2. 銅鐙 3. 鉄器 4. 銅鏡

答え合わせ・解説 No.9

問1	答え 3 市司	平城京の東市・西市は、市司（東市司・西市司）と呼ばれる官司によって厳しく管理されていた。市司は、市場での取引や価格の平準化、度量衡の検査などを担当し、自由な交易ではなく国家による統制取引が行われていた。
問2	答え 1 横穴式石室	6世紀になると、朝鮮半島からの技術的影響を受けて、石室の側面に外部とつながる通路（羨道）を設けた構造が普及した。これにより、一度埋葬した後に再び入り口を開けて、家族などを追葬することが可能となった。この変化は、古墳の被葬者層が従来の首長個人から、家族や親族といった共同体へと変化したことを示している。
問3	答え 2 書院造	室町時代の東山文化期などに発達した武家住宅の様式であり、畳を敷き詰め、障子や襖で部屋を仕切るなど、現代の和室の原型となった。平安時代の貴族の住宅様式である寝殿造とは対照的な特徴を持つ。
問4	答え 1 承平・天慶の乱	10世紀前半の承平・天慶年間に、東国（関東）で新皇を自称した平将門の乱と、西国（瀬戸内海）で海賊を率いた藤原純友の乱がほぼ同時期に発生した。朝廷はこれらを鎮圧するために武士を動員せざるを得ず、この一連の動乱は「承平・天慶の乱」と呼ばれ、武士が歴史の表舞台に登場する契機となった。
問5	答え 1 防人	律令制下において、対外防備の要衝である九州北部の警備には、主に東国から徴発された兵士が充てられた。彼らは防人と呼ばれ、長旅や現地での負担が非常に重かったことが『万葉集』の防人歌などからも知られている。一方、のちに導入された健児は、郡司の子弟などの志願者からなる地方の少数精鋭の軍事組織であり、東国から派遣されたものではない。
問6	答え 2 瀬戸内海	藤原純友は伊予国（現在の愛媛県）の国司の任期を終えた後、瀬戸内海の内海を率いて反乱を起こした。この海域は古くから西国と都を結ぶ重要な海上交通路であり、純友はここを拠点に国府や大宰府を襲撃して朝廷を震撼させた。
問7	答え 2 箸墓古墳	3世紀中頃から後半にかけて、奈良盆地東南部の地に突如として出現した巨大な前方後円墳が箸墓古墳である。墳丘長は約280mに及び、それまでの弥生時代の墳丘墓とは一線を画す規模を持つ。前方部が撥状に広がり、西南西を向いている特徴的な形状をしており、時期の近さから『魏志』倭人伝に記された卑弥呼の「径百余歩」の冢（墓）に比定する説が有力視されている。
問8	答え 2 新羅	遣唐使の航路は、当初は朝鮮半島沿岸を進む安全な「北路」がとられていた。しかし、8世紀に入ると日本と新羅との関係が対立・悪化したため、新羅沿岸を通るルートの利用が困難になり、東シナ海を横断する危険な「南路」や「南島路」をとるようになった。
問9	答え 4 蔵人所	薬子の変において、嵯峨天皇は平城太上天皇側に対する機密保持と迅速な命令伝達の必要性から、天皇の秘書官長として蔵人頭を設置した。この蔵人頭が率いる役所が蔵人所であり、以後、天皇の命令（勅旨）を太政官へ伝達する重要な令外の官として機能するようになった。初代の蔵人頭には藤原冬嗣や巨勢野足が任命された。
問10	答え 3 鉄器	弥生時代には大陸や朝鮮半島から鉄器と青銅器がほぼ同時に伝来した。このうち鉄器は、木製農具の刃先や工具、武器などの実用的な道具として用いられた。一方、青銅器は銅鐸や銅剣・銅矛・銅戈などの祭祀用の道具（祭器）として用いられ、青銅製の刃先をもつ農具は普及しなかった。また、これらの金属器はやがて日本列島内でも鋳型を用いて製作されるようになった。